

さわやか広場

～みんなあつまれ～

〒036-0233 青森県平川市日沼樋田85番地

TEL 0172-43-5432 FAX 0172-43-5433

http://www.sawayakaen.net/

E-mail:sawayakaen@viola.ocn.ne.jp

社会福祉法人	直心会	理事長	花田 昭子
特別養護老人ホーム	さわやか園	園長	池内 善次郎
サービスセンター	さわやか園		
在宅介護支援センター	さわやか園		



二月二十八日に行われた
「ひな祭り」の様子です

関連記事は二面に

魅力ある施設作りに向けて

新年度を迎え、当園も開設9年目に入りましたが、10年という節目を目前に、これまで歩んできたことができたのも、本誌をお読みいただいたております全ての方々はもとより、地域の皆様のご支援とご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。この間、施設現場における利用者への介護サービスは、利用者の重度化が進む一方、社会的ニーズ、利用者ニーズの多様化と相まって、良質で適正な介護サービスの提供が求められてきました。

しかし、これまで介護保険法改正に伴う介護報酬の減算改定等により、施設経営には大きな支障を来している中、ご利用者に対する良質で安定的な介護サービスを提供するには、質の良い人材確保とともに、魅力ある職場環境づくりと適正な施設整備が大きな課題となってきました。

新年度は新たな介護保険制度がはじまり、「緊急特別対策」として介護報酬の3パーセント引き上げが実施されますが、これまで以上に各介護サービス事業のさらなる機能強化が求められている事は言うまでもないことです。

当園では介護の現場での技術の向上はもちろんのこと、運営改革を更に進め充実したサービス・独自のサービスの提供を実施し、地域の方々から信頼される、ご満足頂ける施設作りを目指します。

事務長 花田 寛之

ひな祭り

二月二十八日(土)さわやか園では一足早くひな祭りが行われました。場所は毎日リハビリなどを行っている地域交流スペースでした。まずはお内裏様とおひな様の登場です。お内裏様には特養から阿保豊一さん、おひな様はシヨートステイから野呂ミツエさんが引き受けてくれました。



会場には、サククスやドラムなど普段は見ること少ない楽器が並べられ、「これから何が始まるんだ？」と胸をたかぶらせていました。今回も園長が所属する『ミュージック・フィクション』の皆様の迫力ある演奏を聴くことができ、利用者だけでなく職員も感動しました。

また今回は、歌手の方にも参加していただき、バンド演奏に合わせた素敵な歌声も聴くことができ、より良い音楽を楽しむことができました。利用者の皆様や職員も一緒に歌い、中には涙をながす姿もみられました。そして、最後にはおいしいおやつも食べ幸せな気持ちになりました。



(特養介護職員 葛西 琴美)

鬼は外!!!

二月三日(火)さわやか園全体で、節分の豆まきが行われました。

まず司会の職員から節分の由来が紹介されました。節分は季節の区切りなので四回ある



事・鬼は人間に不幸をもたらす病気や飢饉の象徴である事・豆には穀物の神様が宿っており、邪気を追い払ってくれる事”等で、知っているようで知らない節分の意味合いが再認識されました。

次に利用者一同で『豆まき』の歌を合唱しました。歌が終わると同時に鬼が登場！(もちろん鬼は仮装した男性職員ですが;) リズミカルな音楽が流れる中、利用者の方々は一斉に鬼に豆をぶつけ、とても楽しそうな様子でした。そうこうしている内に、鬼は降参して逃げていってしまいました。

その後利用者の皆さんは、歳の数に関係なくたくさんのおやつには柔らかくて甘い煮豆が出され、皆さんが満足した表情で食べていました。

(特養介護職員 三上 真由美)



デイサービス野外機能訓練

三月九日(月)から三月十三日(金)まで、デイサービスセンターでは野外機能訓練として藤崎のジャスコに出掛けてきました。普段外出する機会が少ない利用者の皆さんから買物に行きたいという要望が多く聞かれた為、外に出て気分転換をしていただきました。

十二時十五分にさわやか園を出発して約十五分でジャスコに到着しました。バスの中では利用者の皆さんは、買う物を決めてきたのかすごくいい表情をしていました。到着するとまずは二階にあがって洋服や下着類などを買って行きました。一階に下りてきて次は食品売り場です。皆さんそれぞれにいろんな物を手にとりながら楽しんで買物をされていた様子でした。



買物が終わると一休みです。皆さんはジュースを飲んだりソフトクリームを食べたり、とても楽しそうでした。

楽しい時間はアツという間に終わりましたが、利用者の皆さんには外に出て日常生活での不便さを解消してもらい、とてもいい気分転換になったと思います。

(特養事務員 虻川 和夫)

餅つき会



一月六日(火)餅つき会が、さわやか園
地域交流スペースにおいて開催されま
した。

園長からの挨拶に始まり、臼と杵が
各二台ずつ用意され、早速餅つき開始
となりました。

男性職員五名が餅をつき、女性職員
二名があいどりを担当し、呼吸の合っ
た様子に利用者からもさかんに大きな
掛け声がかかっていました。会場は利
用者の声援が響き渡り、とても賑やか
な雰囲気になっていました。

餅もあつという間につきあがって、
女性職員をはじめ、デイサービス利用
者やショートステイ入所者、施設入所
者の方々数名が手伝い、熱々の餅を素
早く丸めています。年に一度の行事
ではありますが、皆さんとても手際が
よく、また楽しげに作業していました。
餅は見る見るうちに小さく千切られ、
食べ易く丸められました。

今年、おしること黄な粉の二種類
の味で皆さんに振舞われ、会場にいた
利用者や入所者の皆さん全員が舌鼓を
うっていました。
今年も例年以上に盛り上がり、とて
も楽しい餅つき会でした。



(特養介護支援専門員 豊巻 友子)



十・十一・十二月期誕生会
& クリスマス会

平成二十年十二月二十日(土)の午後毎年恒
例の「十・十一・十二月期誕生会&クリスマス
会」が施設内地域交流スペースにて行われま
した。

初めに誕生会がスタート。施設入所者十五
名・デイサービス利用者一名が紹介され、園
長よりプレゼントの贈呈が行われました。プ
レゼントを貰った方々からは、笑顔や嬉しく
泣き出しそうな表情がみられていました。

また、今回は施設の入所者で、最高齢とな
る九十九歳を迎えられた方がいました。家族
の方からケーキの差し入れがあり、ローソク
を立てて火をつけたあと、皆でハッピーバ
スデーの曲を歌いました。喜ばれていた本
人は、火を消したあと更に素敵な笑顔をみせ
て下さいました。今年百歳になりますので、
いつまでもお元気でいてほしい限りです。

続いて『はすね保育園』園児の皆さんにお
祝いに来て頂き、男女に分かれ踊りが披露さ
れました。男の子は元気に勇ましいよさこい、
女の子は綺麗な着物をまとった優雅な踊りで
した。利用者の中には、園児達の踊りを見て
一生懸命拍手を送ったり涙ぐむ姿が見られま
した。



盛り上がった所で皆が待ちに待ったクリスマ
ス会に移りました。クリスマスソングが流れ
ると利用者・園児達は大はしゃぎです。大き
なサンタクロースとトナカイそしてチョッパ
が登場すると大きな声で呼んだりさわたり楽
そうです。サンタクロースより一言挨拶があつ
たあと、施設職員による園児達へのお礼を兼ね
たバルーンアート余興の始まりです。細い風船
を器用に曲げたり丸めたりしながら犬やうさぎ
などの動物を作って見せると、皆さんはとて
喜ばれ、もつともつと作ってほしいと大盛況で
した。

余興の興奮が冷めないまま、サンタから一人
ずつプレゼントが手渡されました。貰った利用
者・園児達は中身を確認しとても喜び、最後ま
で楽しい雰囲気にもまれた誕生会&クリスマス
会でした。
終了後は利用者の皆さんで誕生日ケーキをお
いしく頂きました。顔にクリームをつけたりお
かわりする等ともおいしかったようです。
次回はどんな誕生会&クリスマス会になるか
期待して下さいます。

(特養介護副主任 中村 優子)



AED導入

さわやか園では、平成二十一年二月よりAED(自動体外式除細動器)を導入し、医務室へ設置しました。

このAEDは、心臓が小刻みに痙攣し、血液を送り出す心臓本来のポンプの働きが失われる状態(心室細動)のときに、心臓に電気ショックを与え心臓機能の回復を図る装置です。

心室細動になってから電気ショックを行うまでの時間が一分遅れるごとに、助かるチャンスが約10%ずつ低下することが知られています。このため、最近では空港や駅・デパートなど色々な場所にAEDを備え付け、万が一の際はそこに居合わせた人に活用してもらおうことで、救急車を待っていたのでは助からないかもしれない人々の救命につなげることを目指す動きが広がっています。

当園の職員も平川市で行われた応急手当講習会に参加し、講師の平川消防本部救急係の方々から応急手当の基礎知識や重要性を学び、具体的なAEDの使用方法を教わりました。

実際に講習用のAEDを操作してみると、救命の手順が音声とランプで指示されます。傷病者の胸に電極パッドを装着すると、除細動が適応か否かを自動的に判断します。そして機器が除細動の指示を出した時のみ通電のボタンを押せばよい仕組みになっているので、専門的な知識がなくても非常時の対応が出来るというわけです。

当園において、このAEDが活躍する場面が発生しない事を願うばかりですが、緊急事態が起こる可能性がある限り、最善の準備は必要です。

もしも周辺地域の皆様に除細動を必要とする緊急事態が起こった際には、当園のAEDの存在を思い出し、活用していただければ幸いです。

(特養事務員 森内 卓爾)



特養の外食会やショッピングの様子です。



ディサービスでは第五城東のユニバースへ行ってきました!



野外機能訓練



前回クイズの正解者

斉藤 光子 様 須藤 節子 様
工藤 洋子 様 葛西 照子 様
福士 きみ 様

以上の方に粗品をお届けしました。ご応募ありがとうございました。

前回クイズの解答

第1問：① ×
第2問：② ○
第3問：② ×



- 第1問 ひな祭りを行った場所はさわやか園の『食堂』である。
① ○ ② ×
- 第2問 さわやか園の豆まきに現れたのは『サンタ』である。
① ○ ② ×
- 第3問 さわやか園に導入されたのは『AED』である。
① ○ ② ×

☆ヒント:答えは広報誌のどこかにあります。



さわやかクイズ

さわやかクイズの答えがわかった方は、第1問から第3問までの解答と、住所・氏名・電話番号を明記の上、ハガキまたはFAXにて表紙連絡先までお送り下さい。正解者の中から抽選で10名様に、ささやかなプレゼントを用意いたします。
なお、締切りは4月30日(木)必着とさせていただきます。また、当選者の氏名は広報誌さわやか広場にて発表になることを予めご了承下さい。

